

校地の緑化すすむ

開校以来、着々とすすめられてきた学習環境の整備。3年目のこの年は、とりわけ緑の環境づくりに一段と拍車がかけられた。4月30日には校舎北面の土手に松30本、杉40本が植えられ、学習の場にふさわしい落ちつきも出てきた。



▲伸びよ、スギ・ヒノキ

運動場整備



▲タイヤコーナーできる

9月16日、タイヤコーナーが設置され、運動場の整備が一段落した。先生、父兄の協力のもと完成したタイヤコーナーで遊ぶ子ども達も大喜び。跳んだり、はねたりする遊びがまたひとつ増えた。

大イチョウの移植



▲移植されたイチョウ



▲完成した藤棚▶



藤棚完成

校庭の緑化が着実に進む中で、3月4日、藤棚が完成した。春になると緑につつまれた校庭の片隅に紫色の花が咲き乱れ一段と鮮やかさを増した。

% 入学式(新一年一四〇名)	% 遠足(小鈴谷海岸潮干狩)	% 植樹(ヒノキ他)	% 小運動会	% 青年会議所主催[写生大会]	% 野外活動	% 低鉄棒完成	% 瀬戸地方集中豪雨	% 児童用かさ設置	% 児童作品焼成窯完成	% 運動場整備工事完了	% 秋季大運動会	% 修学旅行	% 校内作品展	% 大イチョウ移植	% 藤棚完成(卒業記念)	% 卒業式	% 運動場西端築山	% 北側防風林完成
-------------------	-------------------	---------------	-----------	--------------------	-----------	------------	---------------	--------------	----------------	----------------	-------------	-----------	------------	--------------	-----------------	----------	--------------	--------------



体育器具庫も屋外便所も

第二代校長 大野定一

わずか4年間の在職でしたが、いま開校10周年の声を聞くと、めでたく10歳の誕生を迎えたわが子の晴れ姿を前にして思わず思い出のとりこになってしまうような感懷にひたってしまいます。

…その一端… 赴任当時は、校舎が保健室以東まで、体育器具庫が無く運動場からずっと離れた保健室と応接室の間の土間あるいは、中央昇降口の入った所をそれに当てていたので、器具を使う体育のとき、ここから運動場まで飛び箱やマットを持って行ったり、運び上げる児童の姿を見るたびに何とかもっと手近かな所に器具庫をつくれないか、また屋外に居る者が簡単に使用できる便所はできないものか。赴任早々の私の頭を重く占領してしまったこのことは、数度の市へのお願いでも、他の増改築しなければならない学校のことを考えると、話が簡単には進みませんでした。

そんな時、本校も児童増で増築することになりました。計設図を見ると、増築校舎の西端は、校舎の一階の床より一段下で、いわば地階であり、その床面が運動場と同じ高さになります。

「ここを体育器具庫にするんだ」

飛び上らんばかりの気持ちで市に行きここを体育器具庫にするようにお願いして解決しました。

また、体育馆が新築されるとき、便所を外からも使えるようにお願いして屋外からの便所使用についても解決しました。

言葉通りほっと胸をなで下しました。



▲ 8月13日より 校舎増築工事開始

入学式(新一年一四九名)	遠足	運動施設の安全点検実施	小運動会	運動場北側擁壁崩壊	● 校門前の登下校交通指導	● 運動場北半分使用不能	(自治会安全部)協力 PTA 安全部 五年県野外教育センター	野外活動	校舎増築工事開始	遠足(一～五年) 修学旅行(静岡方面)	学年運動会	歩け歩け運動	職員室拡張工事	卒業式	学習発表会	校内球技大会
--------------	----	-------------	------	-----------	---------------	--------------	--------------------------------------	------	----------	------------------------	-------	--------	---------	-----	-------	--------

くずれ去る石垣

来る日も来る日も降り続く雨の中。5月26日、突如として運動場北側擁壁が崩壊し始め、遂に130m余りも堅牢な石垣があたかも角砂糖の溶けるが如く、またたく間に崩れ去った。それに伴い、洗われるよう流出する土砂に運動場が大きく裂け、自然の猛威の前に茫然とする思いであった。この結果、運動場の北半分が使用不可能になる。しかし、とりあえず危険箇所にシートを覆い、雨上りを待って復旧工事が開始された。



▲運動場北側擁壁崩壊

工事の中での運動会

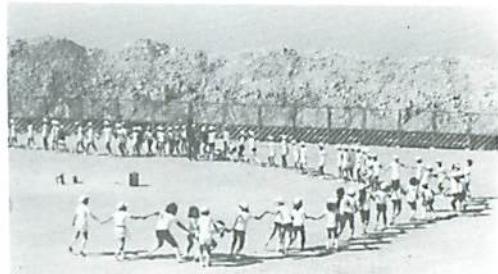


▲増築工事と土砂に囲まれた学年運動会▶

児童数の増加に伴い、教室の絶対数が不足したため、校舎の増築工事が開始されることになった。

この工事に際して、かねてより、その設置を強く望んでいた体育器具庫の工事も着手され、こうした中で運動会が行われた。

運動会のシーズンになっても北側のガケくずれの土がもられたまま、東側は増築のため運動場が取られせまくなつたので秋の運動会は日を変え学年別に行つた。学校全体でやる時とくらべるとちょっとずつ大きさみしかつたがせまい運動場、少ない人数でも工事中の雑音にまけないくらい大きな声や全力を出し合つて競技を楽しんだ。

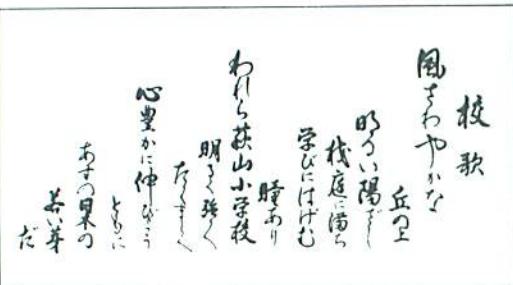


初めての歩け歩け運動

工事中の狭い運動場では、運動不足になりがち。子どもたちの体力作りに何かできないだろうかということで行なわれた初めての歩け歩け運動。オリエンテリング方式で、グループは高学年の指導性を高める意図も含め、たて割りの4年～6年の混合で班を作つた。ポイントは草むらにあつたり、木の枝にぶらさがつていていたり、道を間違えて苦労したグループも…。この写真も「記念写真」というチェックポイントで写したもので、班旗もしっかりと写っている。



▲11月20日 歩け歩け運動



▲ 校歌の発表もあった
記念運動会

校内作品展

2月19日、2年に1度の作品展。多くのお父さん、お母さんに見ていただきたいと日曜日に盛大に開催した。家族そろって、作品を鑑賞する姿は、とてもなごやかなものであった。



▲ 心をこめて作った私たちの作品展

入学式(新一年一六一名)	航空写真撮影	校歌制定準備委員会	野外活動(五年)	体育館用地地質調査	バツクネット修理	秋季大運動会	市民祭参加	修学旅行	体育館起工式	遠足	PTAバザー	校内作品展	卒業式(体育館)	保健団設立準備委員会
--------------	--------	-----------	----------	-----------	----------	--------	-------	------	--------	----	--------	-------	----------	------------



▲校章がついた完成した
体育館



体育館できる

開校以来、これまで卒業式・入学式などは音楽室で行われていた。全校児童が一堂に集うのは、運動場のみで不自由なおもいをしたこと多かった。そういう子ども達や先生方、父兄待望の体育館ができあがった。

竣工式は市長さんをお迎えし盛大に行われた。いよいよ体育館で運動や楽しい集いができるようになった。

校章とりつけ

新しくできあがった体育館の東側面上部に卒業生の記念品として校章がとりつけられた。これは瀬戸在住の陶芸家・太田鉄夫氏によるもので、縦120cm横90cmの大きさで、織部を基調にした立派な焼き物である。

ぞう列車がやってきた！

9月18日、劇団うりんこ上演の「ぞう列車がやってきた」という劇を体育館で観劇。目の前で繰りひろげられる迫力の劇に目をみはるばかり……。戦争のため殺されようとするぞうなどの猛獣たち。悲しい場面、おもしろい場面、それぞれ心に残るものとなった。



▲真剣に観劇する児童たち



▲お別れ講演される大野定一校長

さようなら大野校長先生

萩山小学校2代目校長・大野定一先生が長年の教員生活を終えられることになった。子どもをひきつける話術の持ち主で朝礼の「お話」をたのしみにしている子もいた。書写の指導にもとても力をそそいでみえた。『ありがとうーさようなら』の気持をこめて“送る会”がもたれた。

入学式(新一年一九七名)	体育館暖幕とりつけ	体育館竣工式	体育館へ校章とりつけ	市陸上記録会参加	観劇 (ぞう列車がやってきた)	校門東フェンス完成	PTA歩け歩け運動	就学時検診	階段踊り場に鏡設置	学習発表会	登り棒工事(卒業記念)	卒業式	大野定一校長を送る会
--------------	-----------	--------	------------	----------	--------------------	-----------	-----------	-------	-----------	-------	-------------	-----	------------